



イマージョンクラス (IMC)

イマージョン目標

日本語（母語）ではない英語という言語環境を違和感なく、自然に受け入れることができる保育を目指していきたい。

- ・日本語と英語は文字的にも音声的にも共通点がない全く異なる言語です。
- ・日本語の音域 125 ～ 1500 ヘルツ
英語の音域 2000 ～ 12000 ヘルツ
- ・3歳から6歳までの言語成熟期に英語の音声に触れることで、英語音域=高音を聞き取る言語脳が成長し、将来的に「リスニング」や「発音」に良い影響をもたらします。

イマージョンの具体化

英語という言語特有の語感やリズムを楽しみながら、設定された歌やゲーム、身体活動を通して英語“音”に浸していきたい。

- ・日本人はたくさん英語を勉強しているのに、なぜ英語が話せない？
- ・インプット=英語のレッスン 教員が子ども達に英語の知識を与える。
- ・アウトプット=インプットで得たツール（道具）を使った子ども達の発話。
- ・子ども達にとって大切なのは、レッスンよりも、そこで獲得した英語というツールを使う場なのです。「遊び」「活動」の中から子ども達の自然な発話は生まれてきます。

イマージョンの目指す人間像

何事においても、「興味」・「関心」を持ち、意欲的につなげ、そのことを持続していく。そんな人間になってほしい。

1年間イマージョンクラスで学んだ保護者の方から

この1年を振り返り、初めは英語での会話を中心なので大丈夫かなという思いもありました。でも、須磨幼稚園のイマージョンクラスでは海外の先生だけでなくフォローにはほかの先生もいて下さるので、英語も苦手意識を持つことなくできたのだと思います。子どもの英語を聞いていると、私たちが習った英語と違い、海外の子どもたちがお話しているような自然な発音になってきました。家では毎日お兄ちゃんたちとじゃんけんをする時には「rock paper scissors 1, 2, 3」と言いながらやったり、お兄ちゃんたちに英語で話したり、教えたりと楽しんでいます。生活発表会、音楽会の前には「英語でやるから毎日練習してチェリー組で頑張る」と言い一人でも毎日練習を何回もしていました。今は小学校1年生から英語が授業であります。もう少し前からイマージョンクラスがあったら上の子も入園させたかったなと思っています。

(女兒の保護者)

